

校訓「不撓不屈」 原校区小中一貫教育目標「自立と共生」  
学校教育目標「自芯と優情を育み 自ら行動できる生徒」



しお  
潮  
路



沼津市立原中学校  
学校だより NO.8  
令和7年10月31日  
文責:中嶋記恵子

## 実りの秋、笑顔あふれる「潮騒祭」から 「自分 パワーアップ」のステージへ

秋冷の候、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、10月は本校にとって大変実りの多い一ヶ月となりました。

まず10月16日の文化の部、17日の体育の部で開催いたしました潮騒祭には、多大なる御支援をいただき、誠にありがとうございました。生徒たちの全力が注がれた感動的な潮騒祭は、皆様の御協力のおかげで大成功のうちに終えることができました。

その興奮も冷めやらぬ中、本校は10月20日より第3ステージ「自分 パワーアップ」の期間に入りました。「将来を思い描き、自分の良さを發揮する」ことを目標に、現在、落ち着いた雰囲気の中で日々の学習に取り組む生徒たちの姿が見られます。

また、3年生は10月24日から昨日まで進路面談を実施し、希望された保護者の皆様にも御来校いただきながら、一人一人が将来を見つめる大切な時間を持つことができました。

そして、本日10月31日は、1・2年生の授業参観、学級懇談会に御多忙の中、御来校いただき、ありがとうございました。

本日は、収穫祭と祖先の靈を迎える行事が起源とされる「ハロウィン」でもあります。生徒玄関には、様々な種類のカボチャや花飾りが施され、生徒たちの活動に賑やかな彩りを添えてくれています。

日ごとに深まる秋、朝晩の冷え込みが厳しくなってまいりました。引き続き、御家族皆様の健康に御留意くださいませ。

## 令和7年度 潮騒祭「熱共」の2日間 大成功!



ポスター最優秀賞

美術部制作 横断幕 スローガン「熱共」

優秀賞

優秀賞

10月16日に文化の部は、生徒会企画による創造性あふれるオープニングセレモニーで華やかに幕を開けました。続く、潮騒太鼓の力強い響きは、会場全体にこれから始まる熱い一日の期待感と緊張感をもたらしました。

続いて行われた全校合唱では、全校生徒で「沼津市歌」を齊唱しました。歌声が一つに重なり、体育館に響き渡る合唱は、生徒一人一人の心の中に確かな郷土愛と誇りを育む、すばらしい瞬間となりました。合唱コンクールでは、どのクラスも練習の成果を出し切り、心に深く響くすばらしいハーモニーを奏でてくれました。学年合唱の1年生は、迷いながらも未来を切り拓くメッセージを込めた「We'll Find The Way」を、力強くもフレッシュな歌声で表現し、中学生としての確かな第一歩を示してくれました。2年生は、困難を乗り越え進む道を歌った「道を歩けば」を、昨年よりも深みを増した繊細で立体的な歌声で歌い上げ、学年としての成熟を感じさせました。そして、圧巻だったのは3年生の渾身の合唱です。東日本大震災の背景を持つ名曲「群青」を、高く澄み切った女子の歌声と、深く包み込むような男子の歌声が見事なバランスで重ね合い、切なくも力強い希望のメッセージとして会場全体に届きました。人生の大切な節目を迎える3年生が、この曲に込めた「生きる強さ」と「仲間との絆」は、聴く者全ての心を揺さぶりました。卒業式で再びこの歌声を聴ける日が、今から待ち遠しくなるほどです。

午前の締めくくりとなった「わたしの主張」と「英語弁論」では、日頃の学びや考えを自身の言葉で表現する見事なスピーチでした。1・2年生には憧れの姿として映ったのではないでしょうか。

午後の部では、吹奏楽部が趣向を凝らしたプログラムで会場を魅了しました。迫力ある演奏、聴衆を惹きつけるパフォーマンスは会場を大いに盛り上げ、鳴りやまないアンコールの拍手が、生徒たちの最高の笑顔を呼びました。



原地区教育振興会様  
新しい校旗をありがとうございました。「原中の象徴」として、大切にしています。

10月17日、秋晴れの空のもと、体育の部が華々しく開催されました。

凛とした空気の中、国旗、市旗、そして原地区教育振興会様より御寄贈いただいた新しい校旗が掲揚されました。真新しい校旗が青空に力強く翻る光景は、生徒、教職員、保護者、地域の皆様全員の心に、この学校で学ぶ誇りと、地域への深い感謝を改めて刻み込む感動的な場面となりました。

堂々たる選手宣誓の後、競技がスタート。各学年ともに、大縄、学年種目、潮騒リレーの3種目で得点を競い合いました。

学年種目では、1年生は「台風の目」で仲間同士の息の合った走る姿を見せ、2年生の「障害物競走」では仲間を励ましながら機敏に動く姿を見せ、そして、3年生の「ムカデリレー」では、揺るぎない団結力と最高のスピードを披露し、会場を大いに沸かせました。

どの種目も、クラス全員の力を結集しなければ勝利できないものばかり。当日は、仲間のために声を枯らし、勝利を目指して歯を食いしばって奮闘する姿がありました。学年が上がるにつれ、大縄の回数やリレーの迫力は増し、特に3年生の競技は「さすが最上級生」と感じさせる見応え十分なものでした。

勝敗を超えて、競技後の生徒たちの表情には、力を出し切った者だけが持つ深い満足感と充足感が満ちあふっていました。グラウンドで懸命に汗を流す仲間を、応援席から全力で鼓舞する他学年の声援。そして、その周囲を温かく、時に熱く見守る保護者や地域の方々の視線。終始、歓喜と熱狂(熱共)に包まれた体育の部は、本校グラウンドに集結した人々全員が一体となって創り上げた、忘れられないドラマであったと確信いたします。



保護者の皆様、地域の皆様、温かい御声援ありがとうございました。